

財務諸表のなぜ？  
にお答えします！

令和5年度決算版

荒川区の財務諸表

Q & A

& “ワンポイント”用語解説

## はじめに

荒川区は、目指すべき将来像「幸福実感都市あらかわ」を掲げ、区民の皆さんが、ずっとこの街で幸せを実感していただけるよう様々な事業を計画的に行うとともに、新型コロナウイルス感染症対策や災害対策等のような不測の事態への対応も必要となります。

こうした事業を行っていくためには、限られた財源を重点的かつ効果的に投入するとともに、費用対効果を見極め、徹底した事業の見直しによる行財政運営のさらなる効率化・適正化が必要です。

このため、区では、これまで以上に健全で持続可能な財政運営が行えるよう、平成 28 年度から本格的な複式簿記を導入し、新公会計制度による財務諸表を作成しています。

令和 5 年度は、新型コロナウイルス感染症の 5 類への移行やエネルギー価格をはじめとする物価の上昇など、社会経済情勢が刻々と変化する中においても、区民の皆様一人ひとりが健康で安心して暮らせるための取組を迅速かつ着実に実行してまいりました。物価高から区民生活を守るための給付金を速やかに支給するとともに、子育て施設や介護サービス事業所、公衆浴場などの区内事業者への支援を実施するなど、区として必要な取組を最大限実施してきたところです。また、大規模災害に即応できる災害対策の強化・充実など区民の命と安全を守るための取組をはじめ、子育てや教育環境の整備・若者への支援・地域産業の振興・まちづくりなど、幅広い分野の課題解決にも確実に取り組んでまいりました。

本書は、令和 5 年度のこのような事業取組後の区の資産状況等を Q & A 形式でまとめています。包括年次財務報告書を読むにあたって、『あら坊・あらみいと一緒にみる荒川区の財務諸表』とあわせて、ぜひこのパンフレットを参考にしてください。

# 目次

Q	財務諸表は何のために作るの？……………	1 頁
Q	財務諸表を分析することでどんなことがわかるの？……………	2 頁
Q	区の財務状況はどのような状況なの？……	3 頁
Q	財務諸表を見て財務状況が一目でわかるポイントってあるの？……………	8 頁
Q	財務諸表はどのように役立てるの？……………	9 頁
トピックス	緊急性の高い行政需要に対応……………	11 頁
トピックス	あの取り組みはどうなったの？……………	12 頁
トピックス	財務公表……………	13 頁

※ 各問には、関連する包括年次財務報告書（財務報告書）の参照頁を記載しています。

## 用語解説

のマークは『“ワンポイント”用語解説』の対象語句になります。

本書の計数については、各項目とも表示単位未満を四捨五入しているため、表中の増減額及び合計額等が一致しない場合があります。



## 財務諸表は何のために作るの？

財務報告書  
2・3頁参照

令和5年度は、物価高騰対策や新型コロナウイルス感染症対策など、区民の皆様の暮らしに必要な幅広い分野の課題解決に確実に取り組みました。その結果、一般会計の決算額は歳入1,221億円、歳出1,179億円で、差引42億円の黒字となり、これを翌年度に繰越しました。

このように、今後も区政の様々な課題解決や新たな行政需要に確実に応えていくためには、私たちが健康診断を受けるのと同じで、定期的に財務状況をチェックし、現在の区の資産や負債等をきちんと把握した上で、必要な財源を確保していくことが大切です。

財務諸表は、区の財務状況をチェックしたり、計画的にお金を使っていくことなどのために活用されています。



CHECK

**財務諸表で財政状況を定期的にチェック**



## 財務諸表を分析することでどんなことがわかるの？

財務報告書  
22～27頁  
参照

財務諸表を分析することにより、次のようなことがわかります。

### 「将来の財政負担の「見える化」と確実な財政運営」

区では、これまで現金の収支のみに基づいて決算を行ってきましたが、この方法では将来の財政負担を把握することができませんでした。

そこで財務諸表を分析することにより、例えば、公共施設等の老朽度を金額に置き換えて、今後の施設整備や更新を行うにあたり、将来、区としてどのくらい財政負担が生じるのか等の『見える化』が可能になります。

“見える化”

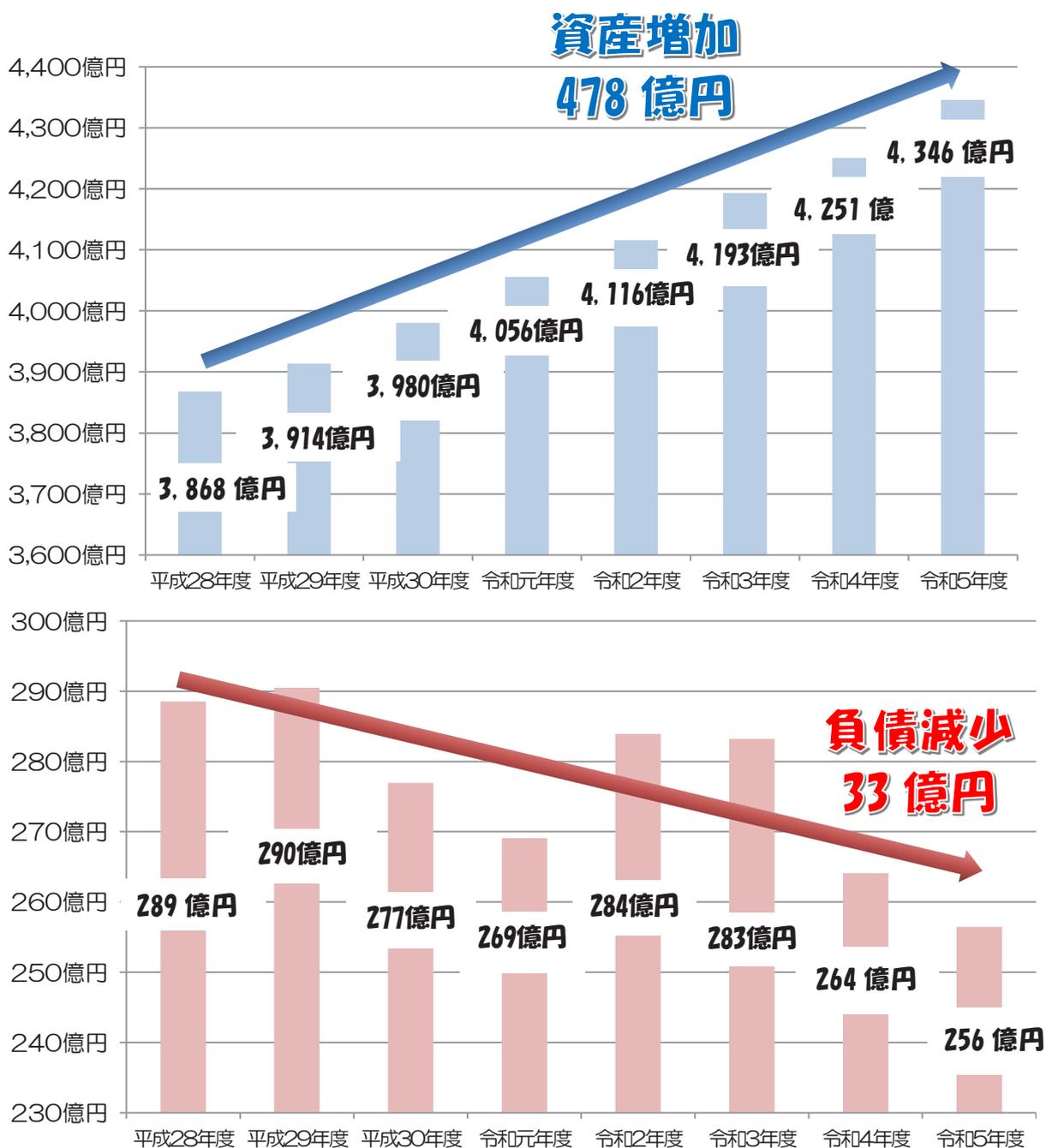




## 区の財務状況はどのような状況なの？

財務報告書  
8・9頁参照  
用語解説

平成28年度以降、令和5年度までに区の資産は478億円増え  
4,346億円（12.4%増）、負債は33億円減り256億円（11.4%減）  
となっています。



では、令和5年度末の資産と負債の内訳を見てみましょう。

まず、資産では、道路が1,907億円、学校やふれあい館、公園などの公共施設が1,778億円で、合計すると3,685億円となり資産全体の8割以上を占めています。しかし、**減価償却**により、資産の価値は年々減少していきます。



### “ワンポイント”用語解説

## 減価償却について

#### ◆減価償却とは◆

建物などの固定資産は、使用や時間の経過等に伴って、老朽化や損耗などが進んで、価値が減少していきます。これを減価償却といい、1年間の建物等の価値の減少分を費用として示したものが減価償却費です。

区の公共施設のうち建物と工作物の資産価値は、取得価格の1,446億円に対して616億円となっており、毎年度の減価償却の累計額を差し引くと半分以下になっています。



その他の資産 661 億円のうち最も多いのが区の貯金にあたる

基金

で、487 億円あります。

基金には、経済情勢の変動などによる収入不足等に備えるための基金、将来の建替え等に備えて小中学校といった義務教育施設を整備するための基金、庁舎整備基金（\*）、公共施設等整備基金などがあります。

（\*）令和5年度に新規設置

## “ワンポイント” 用語解説

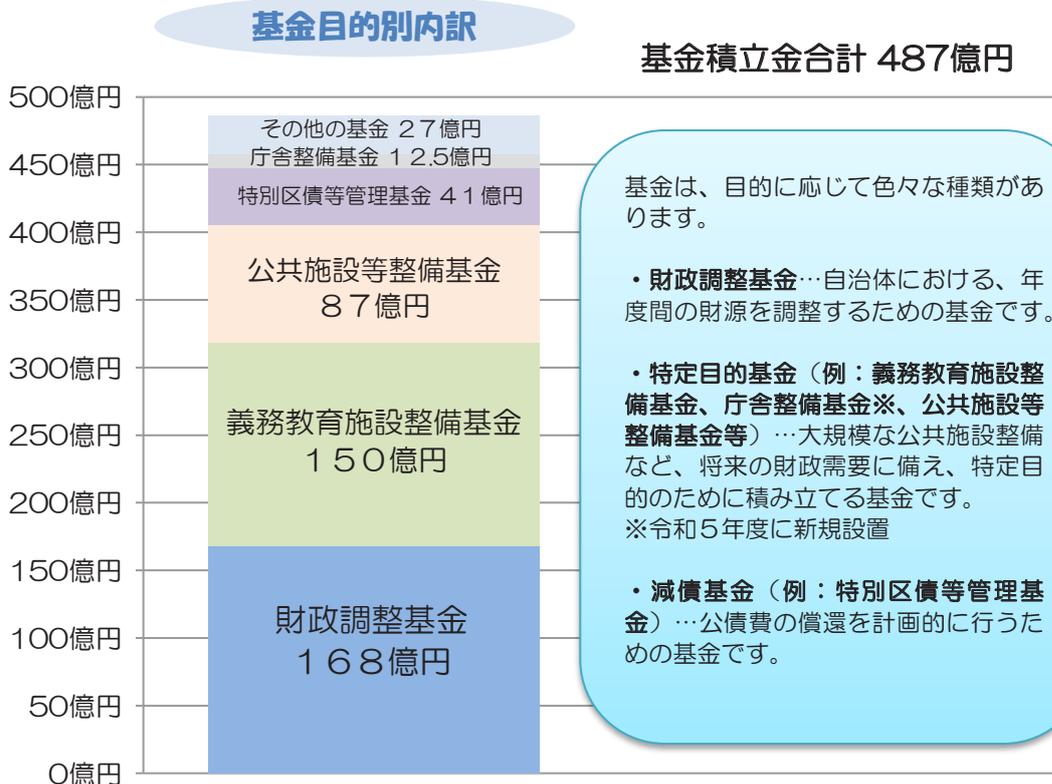
# 基金について

### ◆基金（積立金）とは◆

基金とは、自治体が特定の目的のために、条例の定めに基づいて積み立てているお金で、区の貯金にあたるものになります。

令和5年度末現在の基金の内訳は次のとおりです。

### ◆基金の内訳◆



次に、負債では、**借入金** が 160 億円で約 6 割を占めています。

主な借入の内訳は教育施設整備費に 51 億円、文化施設建設・大規模改修費に 36 億円、ふれあい館建設費に 25 億円等となっています。



その他の負債 96 億円は、将来の支払いに備えるための人件費関係の各種引当金のほか、建物等を借り上げることにより発生したリース債務などです。



# 借入金について

## ◆借入金とは◆

借入金とは区が借り入れているお金で、特別区債といいます。

区がお金を借りる場合は、法律(\*)によって公共施設の整備（建替え、大規模修繕等）などで一時的に多額な資金が必要なお金などに限られており、借りたお金は、長いものでは20年以上かけて返済しています。

これは、公共施設が世代を超えて、多くの方々に長い間ご利用いただきますので、将来の方々にも幅広くご負担していただくためです。

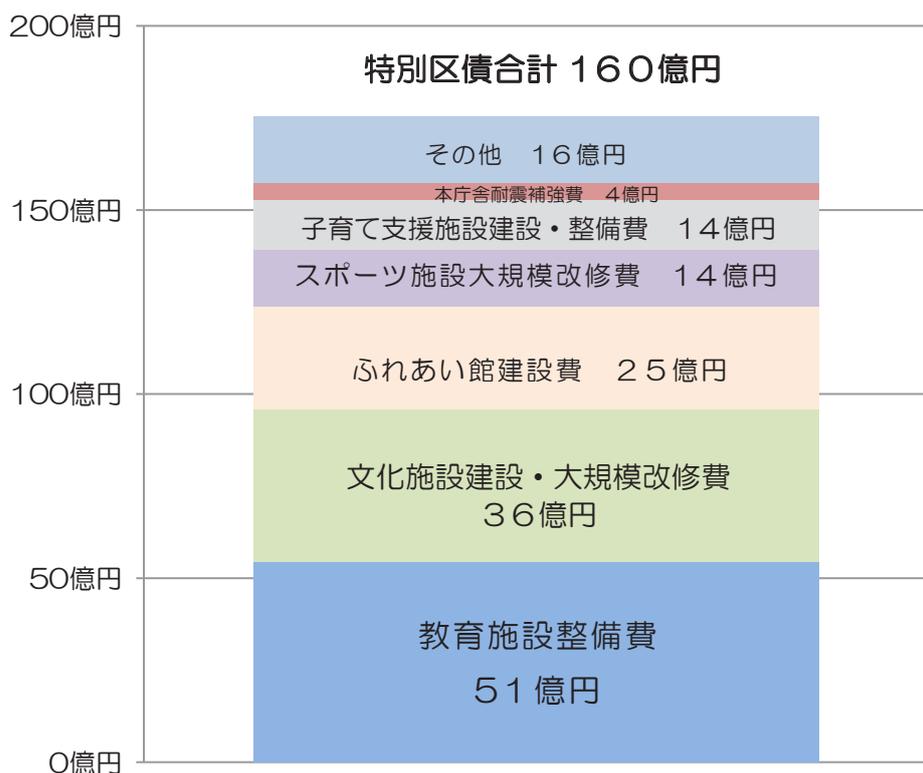
特別区債の内訳は次のとおりです。

令和5年度の特別区債の合計額は160億円となっています。主な借入先は、国、東京都、金融機関等です。

(\*)地方財政法第5条

## ◆特別区債の内訳◆

### 特別区債内訳





## 財務諸表を見て財務状況が一目でわかるポイントってあるの？

財務報告書  
8・9・20頁  
参照

正味財産がポイントです。

正味財産は民間企業でいう自己資本にあたります。

貸借対照表においては、区が住民サービスを提供するために保有している財産（資産）と、その資産をどのような財源（負債・正味財産）で賄ったかを示すものであり、正味財産は資産の部合計から負債の部合計を差し引くことにより算出されます。

一般的には、資産が増加することは、区の資産が増えたことで財務状況が良くなったように見えますが、例えば、借入金（特別区債）により負債がそれ以上に増えてしまったら、区の自己資本は減り、財務状況は悪化したことになります。

そのため、財務状況を見るときは、資産や負債の増減だけではなく、区の自己資本である正味財産の状況と併せて、お金を借りすぎていないかなど財務運営上のバランスをチェックすることが大事です。

令和5年度の資産に対する正味財産の割合は94.1%（\*）と高い自己資本比率となっており、健全な財政状況となっています。

（\*）平成28年度（92.5%）と比べて1.6ポイント上昇しています。

（\*）令和4年度（93.8%）と比べて0.3ポイント上昇しています。

○貸借対照表（令和5年度）

（単位:億円）





## 「計画的な施設整備の実行」

区の施設は昭和の高度経済成長期に集中的に整備されたものが多く、同時期に老朽化を迎えるため、一時期に施設の更新（大規模改修や建替え等）に多額の費用が集中することが予測されます。

区では、効果的な修繕により施設を長寿命化するとともに、計画的な施設整備により費用の平準化を図り、基金の積立てや起債の有効活用によって、区役所本庁舎や小・中学校等の公共施設の更新に取り組んでいきます。



## 緊急性の高い行政需要に対応 ～物価高騰対策・コロナ対策～

行政運営に当たっては、計画的な行政運営に加え、緊急性の高い不測の事態への対応も求められます。令和5年度においては、引き続き物価高騰が続く中、区では、国や都の交付金等の財源を最大限に活用しながら、以下の対策等に取り組みました。

### 区民の生活支援及び子ども・子育て支援



- ・ 低所得世帯等への給付事業や区内の介護サービス事業者の負担を軽減し良質なサービスを継続できるよう補助事業を実施しました。【31億円】
- ・ 子育て世帯への給付事業や区内の子育て施設等の負担を軽減し良質なサービスを継続できるよう補助事業を実施しました。【3億円】

### 経済対策・事業者支援



- ・ 区内中小事業者を支援するため、令和4年度に開始した経済急変対応融資を延長するとともに、公衆浴場への燃料費助成を拡充する等の対策に取り組みました。【1億円】



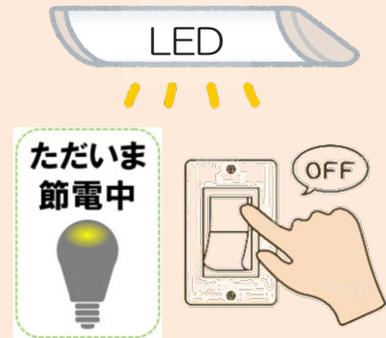
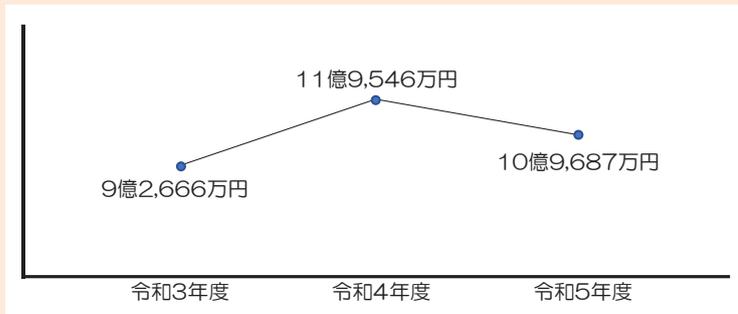
また、新型コロナウイルス感染症対策を継続し、これに要した行政費用は7億3,554万円でした。

区では、こうした対策や災害対策といった緊急性の高い行政需要に対し、今後も財務諸表により財務状況をチェックし、財源を確保した上で、区民の生活や安全と安心を守ることを最優先とし、しっかりと取り組んでまいります。

## あの取り組みはどうなったの？

令和3年度版に続き、令和4年度版の本誌でもお知らせした、節電や放置自転車の令和5年度の区における取組結果は以下のとおりです。

## 〔光熱水費〕



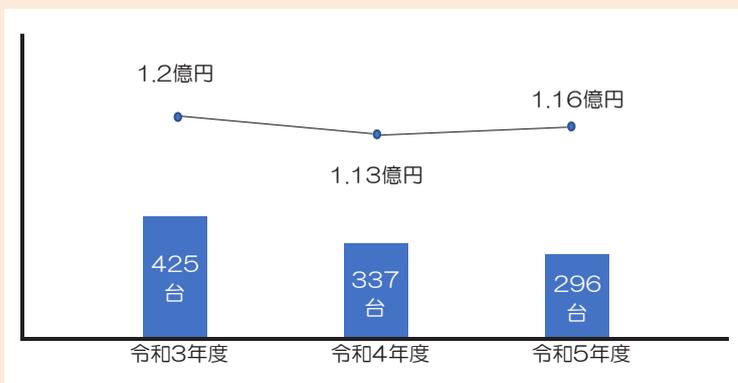
## ○増減

前年度比で約9,800万円の減となりました。

エネルギー価格が上昇する中、区ではこまめな節電や照明のLED化などにより、無駄な費用を省く取組みを継続しています。

## 〔放置自転車〕

(台数は一日あたり)



## ○増減

前年度に比べ、放置自転車台数は一日当たり約40台減少しました。

撤去コストは関連する作業単価の上昇などにより増加していますが、効率的・効果的な事業実施に尽力してまいります。

引き続き、区民の皆様のご協力をお願いいたします。



# トピックス 財務公表

区では、区の財務情報や事業に係るコスト等をまとめた報告書やパンフレットをはじめ、区 HP などでも区民の皆様にお知らせしています。



令和4年度荒川区包括年次財務報告書  
[Comprehensive Annual Financial Report]

令和5年9月  
荒川区



↑ 区報掲載



↑ 区 HP にアップ

令和6年10月発行

登録番号(06)0059

令和5年度決算版 荒川区の財務諸表 Q & A

編集・発行 荒川区会計管理部会計管理課  
〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3  
TEL 03-3802-3111 (代表) 内線 3221